

令和4年度 第1回勝浦市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日 時 令和4年6月22日（水） 午後2時から

2. 開催場所 勝浦市役所 5階 第1・第2委員会室

3. 出席者

【委員】別紙のとおり

【事務局】勝浦市企画課長（高橋） 政策推進係長（渡邊）

4. 会議次第

1. 開 会

2. 報 告

（1）令和3年度協議会事業報告及び決算報告について

（2）令和3年度デマンドタクシー運行実績について

3. 議 題

（1）協議会役員の改選について

（2）協議会規約の一部改正について

（3）令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画について

（4）地域公共交通計画の策定について

4. 閉 会

5. 概 要

（事務局・高橋）

それでは、定刻より少し早いですけれども、ご出席の皆さんお揃いになりましたので、ただ今より、令和4年度第1回勝浦市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。私、勝浦市企画課の高橋と申します。宜しくお願いいたします。

まず始めに、資料の確認をさせていただきます。

・会議資料が一体となった会議次第書と令和5年度生活交通確保維持改善計画（案）、以上となります。お手元にございますでしょうか。

当協議会の委員名簿、また、今日の出席者でございますが、この、会議資料の1ページ目および2ページ目をご参照していただくよう、よろしくお願いいたします。なお、夷隅土木事務所からは今村様が出席予定でありましたが、細川様が出席となっております。また、本日、オブザーバーといたしまして、エミタスタクシー株式会社様より池邊様と地域公共交通計画の策定についてご協力いただきますランドブレインより佐久間様と瀬戸様が出席しております。よろしくお願いいたします。

次に、本日の出席者数について報告いたします。委員総数19名のうち、出席者数は16名です。うち代理出席者3名となっております。3名の欠席委員からは委任状が提出されておりますので、委員総数の過半数に達していることを報告いたします。

次に、本会議につきましては、原則公開としておりますが、現在のところ、傍聴の申出がございません。

私の方からは以上でございます。これより議事に入りますが、進行につきましては、当協議会の会長の竹下副市長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(会長・竹下)

みなさんおはようございます。本日は大変お忙しい中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。恐れ入りますが、議事進行にあたりましては、着座にて進行させていただきます。よろしくお願いいたします。それでは令和4年度の第1回勝浦市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

本日の議題等につきましては次第書に記載のとおり、報告事項として、1点目として『令和3年度協議会事業報告及び決算報告について』、2点目として『令和3年度デマンドタクシー運行実績について』、また、議題として、1点目として『協議会役員の改選について』、2点目として『協議会規約の一部改正について』、3点目として『令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に係る勝浦市生活交通ネットワーク計画について』、4点目として『地域公共交通計画の策定について』をご審議いただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

それでは、報告の1点目でございます『令和3年度協議会事業報告及び決算報告について』事務局より説明を求めます。

(事務局・渡邊)

公共交通を担当しております、企画課の渡邊と申します。よろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

最初に令和3年度勝浦市地域公共交通活性化協議会の事業報告をさせていただきます。資料の3ページをご覧ください。昨年度、会議は3回開催いたしました。1回目は令和3年6月29日、報告事項といたしまして、令和2年度の協議会の事業報告・決算報告、それから、同じく令和2年度のデマンドタクシーの運行実績について。議題としては、デマンドタクシーの運行区域拡大について、また、令和4年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画についてご審議いただきました。2回目の会議は令和3年11月18日、報告事項といたしまして、予約制乗合タクシー利用者アンケートの結果について。議題といたしまして、勝浦市地域公共交通計画の策定について。3回目の会議は令和4年3月24日、報告事項といたしまして、市内公共交通におけるダイヤ改正等について。議題といたしまして、令和4年度の協議会の事業計画（案）及び予算（案）について。また、デマンドタクシーにおける共通乗降場所の追加、地域公共交通計画策定業務に係る事業者選定についてご審議いただきました。会議のほかの事業内容といたしましては、令和4年度分の地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の認定申請書及び令和3年度分の同事業に係る事業評価を提出いたしました。これはデマンドタクシーの運行に係る国庫補助金の交付を受けるためのものでございます。また、デマンドタクシー利用者アンケートを実施いたしました。その結果については2回目の会議にて報告させていただきました。以上が令和3年度の事業報告でございます。

次に令和3年度の本協議会の決算報告でございますが、資料の4ページをご覧ください。歳入から申し上げますと、本協議会の運営に係る経費の負担金として205,000円勝浦市から受け入れました。歳出でございますが、会議費として支出済額122,880円。こちらは3回開催した会議にご出席いただきました委員への報酬及び旅費でございます。次に事務費といたしまして、支出済額3,520円。こちらは委員報酬・旅費のお支払いの際の振込手数料でございます。支出合計、支出済額で126,400円。歳入・歳出の差額78,600円については、勝浦市の一般会計に戻すこととなっており、繰越額は0円となります。

なお、この決算内容について資料の５ページのとおりに、適正であることを監査役であります、鈴木委員・関委員に確認していただいております。

資料の６ページをご覧ください。前回の会議で承認された今年度の事業計画でございます。参考資料として付けさせていただきましたので、ご確認いただけたらと思います。なお、会議の日程については多少の変更を予定しております。以上で、令和３年度の事業報告及び決算報告について説明を終わります。

（会長・竹下）

ただ今、事務局より説明がありました『令和３年度協議会事業報告及び決算報告について』ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

ご質問・ご意見がないようですので、次に移ります。『令和３年度デマンドタクシー運行実績について』事務局より説明を求めます。

（事務局・渡邊）

令和３年度のデマンドタクシーの運行実績について説明いたします。資料の７ページをご覧ください。最初に、各グラフの説明をいたします。上のグラフの青い棒グラフについては、月ごとの乗車人数で、左側の目盛りとなります。令和３年度においては、ひと月あたり３００人前後で推移しております。また、折れ線グラフについては、各月の１日当たりの平均乗車人数で、右側が目盛りとなります。令和３年度については、各月１２人前後で推移しております。下の方の円グラフについては、左が「曜日別の乗車人数」でございます。数値の見方は、月曜日が５８２人で１６％、火曜日が７３５人で２０％、水曜日が５９６人で１７％、木曜日が５５８人で１５％、金曜日が６９５人で１９％、土曜日が４５８人で１３％となります。日曜日は運行しておりません。曜日による大きな偏りは認められませんが、若干土曜日が少なくなっております。中央の円グラフは「便別の乗車人数」でございます。１便が３２９人で９％、２便が１０３９人で２９％、３便が１１６３人で３２％、４便が５９２人で１６％、５便が３２２人で９％、６便が１７９人で５％となっております。２便・３便の利用が多くなっており、次に説明するグラフとも関連しますが、医療機関や商業施設への用事を午前中のうちに済ませるといった利用が多いものと推測できます。右の円グラフは「目的地別の乗車人数」でございます。医療機関が１５０６人で４１％、公共施設が２５７人で７％、駅が３２人で９％、郵便局・金融機関が１３４人で４％、商業施設が１１２２人で３１％となっております。利用の多くが医療機関やスーパーなどの商業施設となっております。円グラフの下の方の折れ線グラフは、運転免許証返納者による乗車人数の推移です。令和元年４月から割引制度を導入しましたが、増加傾向も収まったことから、割引制度について周知されたものと考えております。

最後に、右下の四角く囲った中に記載しましたが、令和３年度の予約制乗合タクシーの運行実績を総括いたしまして、乗車人数３６２４人、運行日数２９３日、１日当たり乗車人数１２．４人、考察といたしまして、乗車人数は令和２年度と比較して７００人以上減少しております。１日当たりの乗車人数は１２．４人であり、新型コロナウイルス感染症の終息を期待し勝浦市生活交通ネットワーク計画における目標値として掲げた２０人を大きく下回りました。その要因としては、５月上旬・８月下旬・２月上旬にそれぞれ新型コロナウイルス新規感染者数のピークがあり、勝浦市内でも市民が外出を控えたものと思われます。特に２月上旬の新規感染者のピークは大きく、デマンドタクシーの利用者が激減したものと考えられます。

令和３年には利用者アンケートを実施するとともに、興津地区西側の自由乗降区域として拡大する見直しを行いました。令和４年度には地域公共交通計画の策定を予定しており、各公共交通の需要調査を実施します。計画を策定するなかで、デマンドタクシーを含め利用者にとって利便性の高い公共交通の維持・確保について検討してまいります。以上で、令和３年度のデマンドタクシーの運行実績について説明を終わります。

（会長・竹下）

ただ今、事務局より説明がありました『令和３年度デマンドタクシー運行実績について』ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

ご質問・ご意見がないようですので「報告」を終わります。

続きまして「議題」に入ります。はじめに、『協議会役員の改選について』を議題とします。事務局より説明を求めます。

（事務局・渡邊）

勝浦市地域公共交通活性化協議会役員の改選について説明いたします。資料の８ページをご覧ください。勝浦市地域公共交通活性化協議会規約の規定により、会長は勝浦市の副市長をもって充てることとなっております。また、副会長２名は会長が指名し、監査２名は会長が任命することとなっております。以上で、協議会役員の改選について説明を終わります。

（会長・竹下）

ただ今、事務局より説明がありました『協議会役員の改選について』でございますが、規約により協議会の会長は、勝浦市の副市長が務めることとなっているようでございますので、引き続きよろしくお願いいたします。また、副会長２名は会長が指名、監査２名は会長が任命することとなっているようでございますので、副会長には、小湊鉄道株式会社の深山委員と、エミタスタクシー南総株式会社の古川委員にお願いしたいと思います。また、監査につきましては、勝浦市区長会連絡協議会の鈴木委員と、勝浦市社会福祉協議会の関委員にお願いしたいと思います。皆さまよろしくお願いいたします。

（会長・竹下）

次に『協議会規約の一部改正について』を議題とします。事務局より説明を求めます。

（事務局・渡邊）

勝浦市地域公共交通活性化協議会規約の一部改正について説明いたします。資料の９ページをご覧ください。本協議会は「道路運送法」及び「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき設置されており、協議会規約の第１条にその目的が記載されております。この第１条において引用する法定計画の名称について、「地域公共交通総合連携計画」から、今年度策定を予定している「地域公共交通計画」に修正しようとするものでございます。また、デマンドタクシーの運行に係る国の補助金に関連し策定する計画についても、法律の改正を受け取扱いが変更されましたので、「生活交通ネットワーク計画」から「地域公共交通確保維持改善事業に係る計画」と表現を改めようとするものでございます。さらに、規約第３条に規定する業務につきましても、第１条における計画名称の修正を受け、略称となりますが、それぞれ「交通計画」「事業計画」と表現を改めようとするものでござ

います。以上で、協議会規約の改正について説明を終わります。

(会長・竹下)

ただ今、事務局より説明がありました『協議会規約の一部改正について』ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

それではお諮りいたします。『協議会規約の一部改正について』ご異議ありませんか。
異議なしと認め、『協議会規約の一部改正について』は承認されました。

(会長・竹下)

次に『令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に係る生活交通確保維持改善計画について』を議題とします。事務局より説明を求めます。

(事務局・渡邊)

令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画についてご説明いたします。別冊となっております資料をご覧ください。

まず、地域公共交通確保維持事業の説明ですが、これは国の事業で「地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するために、鉄道や路線バス等の幹線交通を補完するようなコミュニティバスやデマンドタクシー等の運行を支援する」事業です。勝浦市においては、デマンドタクシーがこれに当たりまして、運行に係る経費の一部を支援していただいております。この補助金を受ける条件として、地域内で公共交通について協議する場、すなわち本協議会の設置と、協議会での協議を経て提出された生活交通確保維持改善計画の認定が必要となります。

今回ご審議いただく計画は令和5年度となっておりますが、公共交通分野における年度区分は、10月から始まり9月で終わる1年間となっております。また、4月を含む年を年度として表現します。今回の計画は令和4年10月から令和5年9月までの1年間でございますので、令和5年度ということになります。

計画自体は、昨年提出ものから大きく変更はありませんので、修正点について説明させていただきますと、1ページ目の2の(1)事業の目標についてでございますが、運行日1日当たりの乗車人数を20人としておりましたが、現在のデマンドタクシーの利用者数の推移から15人といたしました。また、4ページの21利用者等の意見の反映状況についてでございますが、地域公共交通計画の策定を進めるなかで、交通需要等について各種調査を実施いたしますので、これらの意見を運行に反映してまいりたいと考えております。

デマンドタクシーについては、引き続き運行を行っていくことを前提に、資料のとおり生活交通確保維持改善計画を提出することについて、ご承認いただければと思います。説明は以上でございます。

(会長・竹下)

ただ今、事務局より説明がありました『令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に係る生活交通確保維持改善計画について』ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

(関委員)

目標数値についてですが、コロナ直前が1日約20人の乗車となっており、コロナの影響で昨年度は12.4人になっているようですが、高齢化が進み免許返納者を増えてくる

と思われる。運行区域の拡大も行っていることから、利用者が増加することもあると考えられる。もう少し高い目標数値にしてはどうか。

（事務局・渡邊）

委員の言うとおり利用が増える要因と減る要因があるが、まずは、令和2年度の利用状況まで回復させることを目標とさせていただいた。

（会長・竹下）

他にご質問・ご意見はございませんか。それではお諮りいたします。『令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に係る生活交通確保維持改善計画について』ご異議ありませんか。

異議なしと認め、『令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に係る勝浦市生活交通ネットワーク計画について』は承認されました。

（会長・竹下）

次に『地域公共交通計画の策定について』を議題とします。事務局より説明を求めます。

（事務局・渡邊）

地域公共交通計画の策定について説明いたします。資料は10ページからとなります。前回、前々回の会議において説明しご承認をいただいております、地域公共交通計画の策定については、その業務を専門的な知見を持つコンサルタント業者に委託することになっておりましたが、事業者の選定が終了しましたのでその結果を報告いたします。

委託事業者の選定方式は、公募型プロポーザル方式です。ホームページ等にて募集を行った結果、6つの事業者から企画提案書が提出され、5月25日にプロポーザル審査会を開催いたしました。審査は協議会委員より選出された5名の審査委員により行われ、審査の結果、ランドブレイン株式会社様が委託事業者として選定されました。本日同席していただいておりますので、ご挨拶いただきましたと存じます。

（ランドブレイン(株)瀬戸）

ランドブレインと申します。弊社では公共交通計画をはじめとした交通施策、あるいはまちづくりの観点から都市計画マスタープラン等、行政のお手伝いをしております。公共交通計画に関しまして、千葉県内ではいすみ市、香取市、南房総市等、10件以上担当させていただいております。そうした知見を活かして本業務に取り掛かります。

（事務局・渡邊）

続きまして資料の11ページをご覧ください。地域公共交通計画の策定に係る今後のスケジュールについてでございますが、ここからの説明は、ランドブレインさんをお願いしたいと思います。

（ランドブレイン(株)瀬戸）

地域公共交通計画策定のスケジュールと調査の概要について説明します。

スケジュールにつきまして、まずは、現状と地域の特性、上位関連計画での位置づけの把握について概ね6月から7月に実施いたします。7月から10月にかけて各種調査として、市民アンケート調査、地区懇談会、民生委員・児童委員アンケート調査、旅行者等に

対するアンケート調査、公共交通の利用者に対するアンケート調査、公共交通事業者へのヒアリングの6つの調査を実施しながら取り組んでいきます。

これらを踏まえ、地域公共交通計画の骨子、素案では現状を踏まえた課題の整理、公共交通の基本的な方向性、目標、また目標の達成に向けた具体的な取り組み内容、評価の方法等を9月から2月にかけて整理していきます。

の協議会の主なスケジュールは下段にあるように、本日は全体的な調査の概要とスケジュールをお伝えしております。10月頃に各種調査の結果と課題の整理、12月から1月にかけて計画の骨子案を作成し、パブコメを経て、2月に計画の承認という流れで考えております。

12ページのA3判は、今回実施する各種調査の目的・対象者等の概要をお示ししています。まず、一番目の市民アンケート調査につきましては、15歳以上の2,000人の市民を対象に郵送配布・郵送回収ということで、主には、市民の外出実態、移動のニーズ、潜在的なニーズの把握、あるいは市民が求めている利用促進について把握することを目的に実施いたします。

2番目の地区懇談会は、4地区ごとにワークショップごとに自治体の代表者様等に10名程度集まっていただき、普段の移動の際の困りごと、困り具合、移動する際のニーズ等の把握を目的に実施いたします。

3番目の民生委員・児童委員アンケートは、普段高齢者等の相談相手となっている民生委員・児童委員51人の皆様に郵送配布、郵送回収により、高齢者等から寄せられているニーズ、困りごとについてお聞きするためのアンケートを実施いたします。

4番目の旅行者等と観光関連団体へ2つのアンケートを考えております。旅行者アンケート調査では、WEB形式で過去1年間勝浦市に来訪経験のある方を抽出し実施します。来訪する際の特性、目的、手段、勝浦を周遊する際の困りごと、ニーズについて把握をするために行います。

観光関連団体アンケート調査につきましては、観光協会、商工会等の各種団体に対し、主にまちづくりを取り巻く問題、公共交通に対する改善点の把握を目的として考えております。

5番目の公共交通利用者に対するアンケートとして、路線バス利用者アンケート調査では市内を運行する4路線に調査員が乗り込み、どこで乗ってどこで降りたのか、どういった目的で使われているのかを把握するために調査を実施します。

また、目的地利用者アンケート調査では、調査場所として勝浦駅、塩田病院、ベイシア勝浦店で公共交通利用者を対象に、利用する際の目的地までの移動手段、サービスの改善点、利用特性について鉄道、高速バス、予約制乗合タクシーを対象としてアンケートを実施していきます。

最後に、公共交通事業者ヒアリング調査では、JR東日本(株)、小湊鉄道(株)、日東交通(株)、エミタスタクシー南総(株)の4者様に、現在抱えている課題、コロナによる影響、公共交通の再編にあたっての留意すべき点、市民、利用者から寄せられている意見等について事業者の立場からご意見をいただきたい。

こうした調査を実施することで計画に反映していきたいと考えております。

(事務局・渡邊)

全体的にはこのようなスケジュールで進めていきたいと考えております。また、各種調査につきましても、実施段階においてさらに精査し、より効果的なものにしたいと考えて

おりますが、これにつきましてご意見いただけたらと思います。説明は以上です。

(会長・竹下)

ただ今、事務局より説明がありました『地域公共交通計画の策定について』ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

ないようですので諮りいたします。『地域公共交通計画の策定について』は、事務局の説明のとおり作業を進めるということでよろしいでしょうか。

異議なしと認めます。

なお、地域公共計画の策定に関しては、今後必要に応じて協議会において、報告や協議をすることとなりますので、引き続きよろしくお願いします。

これにて議題については終了となります。

次に、その他として何かありますでしょうか。

何も無いようでしたら、本日の会議はこれをもって閉会といたします。長らくのご協議ありがとうございました。

以上